

2009年 [平成21年] 主なできごと



▲出雲市青少年育成市民総決起集会を開催(9月)
子どもたちが健やかに心豊かに育つよう決意を新たにするため、9月5日、「出雲市青少年育成総決起集会」を開催しました。7月に山陰自動車道に在住する少年が法に触れる非行事実で補導されたことを受け、こうした痛ましい事案が二度と起きないように、保護者・学校・地域・行政関係機関・団体等が連携し、青少年育成に主体的・積極的に取り組むことを確認し合いました。



▲山陰自動車 斐川IC-出雲IC間 開通(11月)
11月28日、山陰自動車道の斐川IC(インタチェンジ)から出雲ICまでの13.6kmが開通しました。全国の高速道路につながったことで、観光振興や市内の渋滞緩和などへの効果が期待されます。



▲多伎町砂原遺跡=日本最古の旧石器と調査団が発表(9月)
多伎町砂原遺跡から20点の石器が発見されました。調査団(松藤和人同志社大学教授ほか)は、石器には玉髄(ぎよくすい)製(めのうの一種)の石片や、先を尖らせた三角形の石片があり、ヒトが叩いて作ったものと発表しました。これらは、出土した地層の年代から、12万年前の日本最古の旧石器と報告されました。

斐川町から法定合併協議会設置の依頼(10月)
10月2日、斐川町の勝部町長と岡田町議会議長から、市長および市議会議長に対し、両市町の合併に向けた法定合併協議会設置を求める依頼がありました。



▲新型インフルエンザ猛威を振るう(11月)
全国的に流行している新型インフルエンザが、出雲市でも7月に感染者が確認されて以来、多くの方が感染し、市内各所の学校では学級閉鎖などの措置がとられました。引き続き、手洗い・うがいなど感染予防やマスクを着用するなどの感染拡大防止に取り組ましましょう。



▲市役所新庁舎が開庁(2月)
2月16日に市役所の新庁舎が開庁し、業務を開始しました。また、2月21日・22日には、新庁舎の市民見学会を行い、多数の方が見学されました。



▲新出雲風力発電所が稼動(4月)
風力発電所としては国内最大級の新出雲風力発電所が4月1日から営業運転を開始しました。高さ120mの巨大風車26基の総出力は78,000kW、年間の二酸化炭素(CO₂)の削減量は、85,000トンにもなります。



◀映画「RAILWAYS」の撮影が市内各所で行われました(7月~9月)
出雲市出身の錦織良成監督がメガホンをとり、一畑電車を舞台に制作される映画「RAILWAYS」の撮影が、7月下旬から9月上旬まで市内各所で行われ、多くの市民の方がロケ地支援やエキストラなどで協力されました。映画は、来年春公開予定です。



▲佐田地域で記録的な豪雪(1月)
1月9日からの降雪により佐田町内で約100cmの積雪を記録するなど、市内各所で被害が発生しました。市では、1月臨時市議会を開催し、除雪対策費を予算化するなど早急な復旧を図りました。



▲長岡市政スタート(4月) ~開かれた市政運営への取り組みが始まる~
4月の出雲市長・市議会議員一般選挙により、長岡市政がスタートしました。7月に市長ポストを設置するとともに、市長面会日を設けました。また、10月からは、市民の皆さんと膝を交えた意見交換を行う「まちづくり懇談会」や、土曜日・日曜日に市役所本庁窓口で住民票の写しや印鑑登録証明書などを交付するサービスを開始するなど、開かれた市政運営に取り組んでいます。